

平成26年 4/20 (日) ~ 4/30 (水)

春の火災予防運動

全国標語 「消すまでは 心の警報 ONのまま」

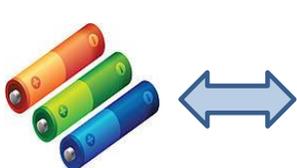
組合標語 「火はいつも みんなの「ゆだん」を ねらってる」

火災警報器のお手入れ3つのポイント



1 乾電池タイプは 交換を忘れずに！

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検の時に「電池切れかな？」と思ったら、早めに交換することをおすすめします。また電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。



2 おおむね10年をめぐに 機器の交換が必要です！

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか「ピー」を言う音などで交換時期を知らせます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは購入時の取扱説明書を確認して下さい。



3 定期的に作動するか 点検しましょう！

定期的(1ヶ月に1度が目安)に、火災警報器が鳴るかどうか、テストしてみましょう。点検方法は本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なりますから、購入時に点検方法を確認しておきましょう。

